

## ProselfDisk のインストールから操作方法まで (Windows 版)

ProselfDisk は、ファイル共有システム(以下、Proself という)の利用者フォルダをパソコンの仮想ドライブとして割り付け、ローカルディスクと同じようにファイル操作を行うことができるクライアントソフトです。この ProselfDisk は、次の Proself を仮想ドライブとしてアクセスできます。

- ・職員用 Proself <https://archive.iii.kyushu-u.ac.jp>

以下では、ProselfDisk のインストールから利用方法について、Windows8 での操作方法について述べています。Windows8 以外のバージョンでは画面の表示など異なる場合がありますのでご了承ください。

1. ProselfDisk のインストール
2. ProselfDisk の設定
3. ProselfDisk への接続と切断
4. 仮想ドライブのファイル操作

### 1. ProselfDisk のインストール

- ・次の URL にアクセスすると図 1 のような画面が表示されるので、「ProselfDisk.x.x.x.exe」をクリックしてダウンロードしてください。(このプログラムは九州大学で運用する Proself のみ接続可能です。)

<http://www.m.kyushu-u.ac.jp/share/proselfdisk/>



図 1 ダウンロード画面

- ・ダウンロードしたファイル (ProselfDisk.x.x.x.exe) をダブルクリックして実行してください。



- ・図 2 のような画面が表示されるので「次へ(N)>」をクリックしてください。



図 2 インストールウィザード画面

- ・ 図 3 のような画面が表示されるので、「使用許諾契約の全項目に同意します(A)」にチェックを入れて「次へ(N)>」をクリックしてください。

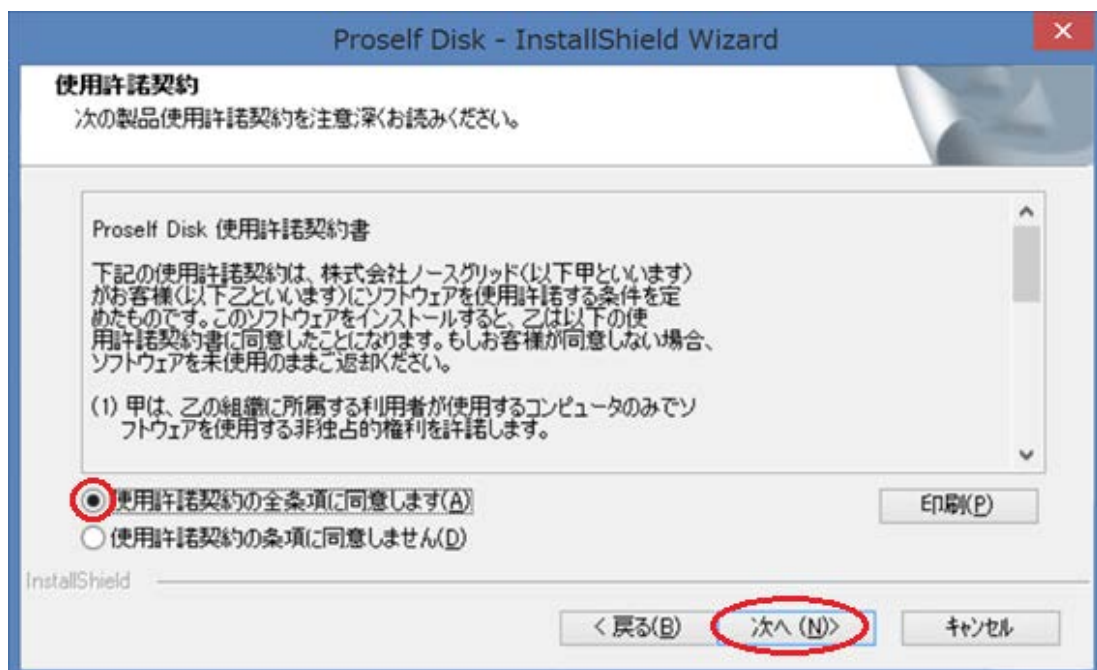


図 3 使用許諾契約の画面

- ・ 図 4 のような画面が表示されるので、「次へ(N)」をクリックしてください。インストール先を変更する場合は、「変更(C)」をクリックして変更してください。

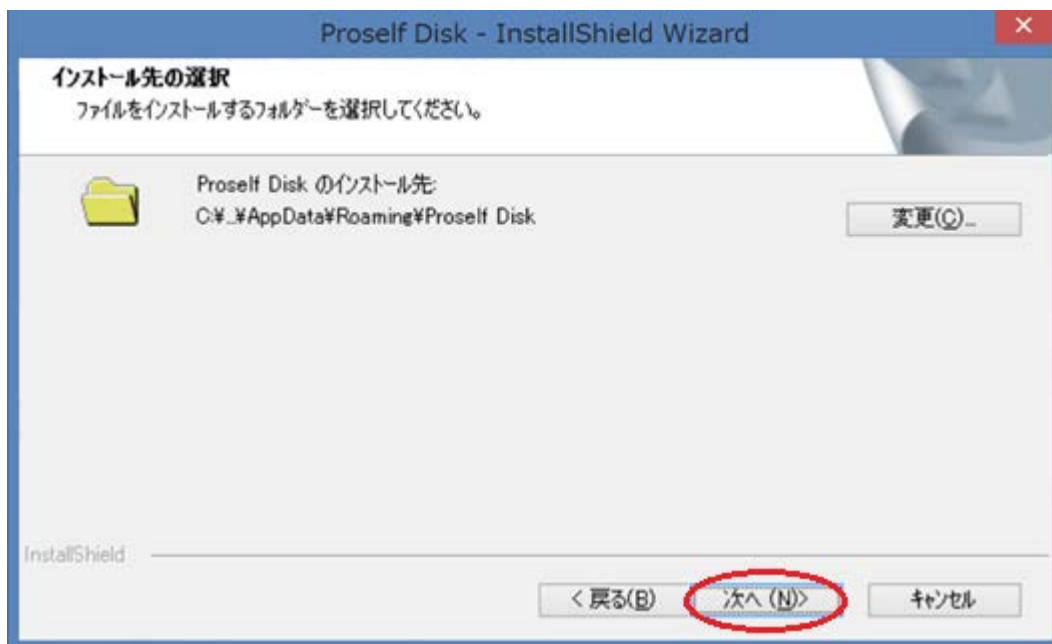


図 4 インストール先選択画面

- ・ 図 5 のような画面が表示されるので、「次へ(N)」をクリックしてください。



図 5 オプション選択画面

- ・ 図 6 のような画面が表示されるので、「インストール」をクリックしてください。

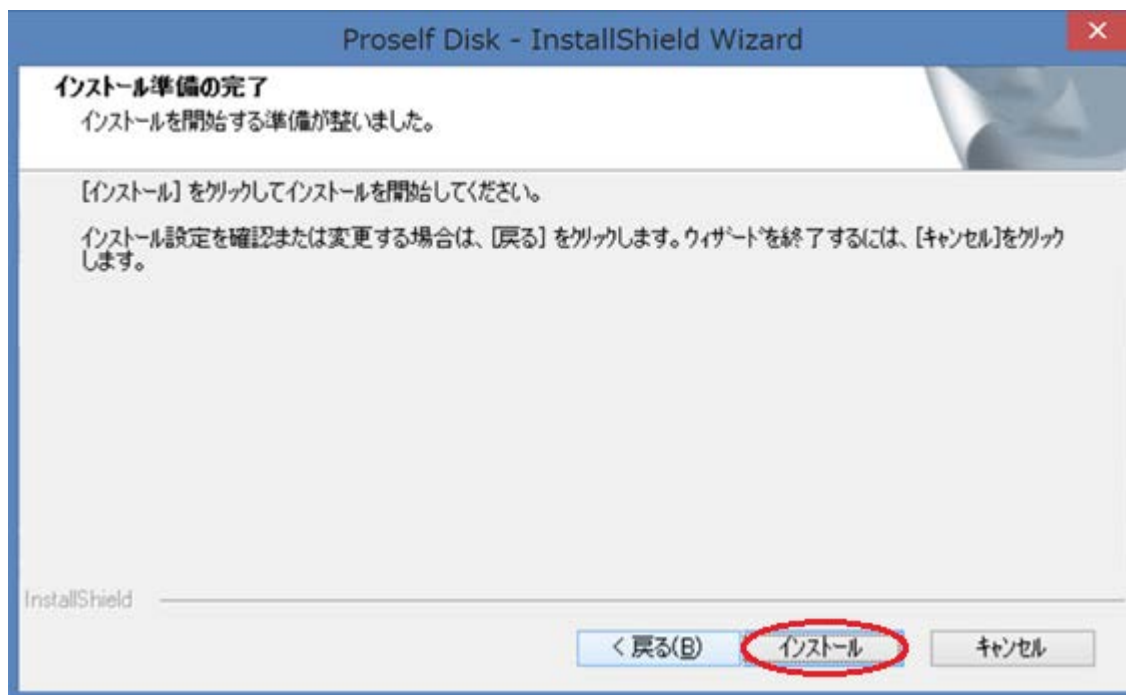


図 6 インストール準備完了画面

- ・ 図 7 のような画面が表示されるので、「完了」をクリックしてインストールを完了してください。

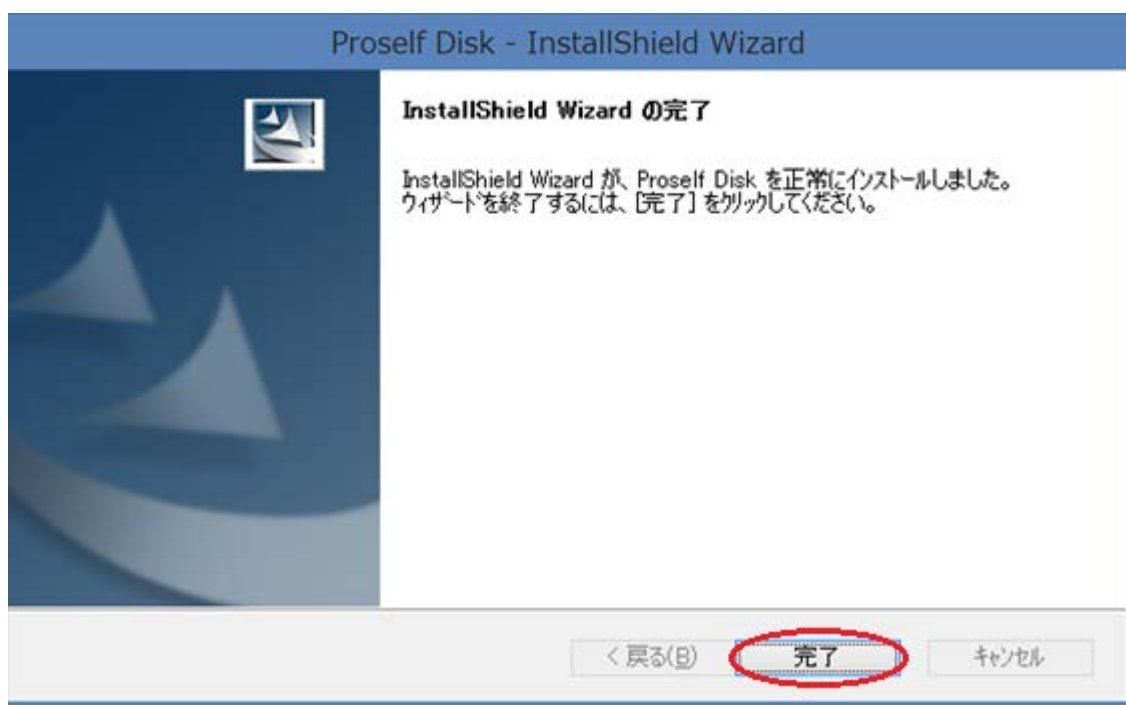



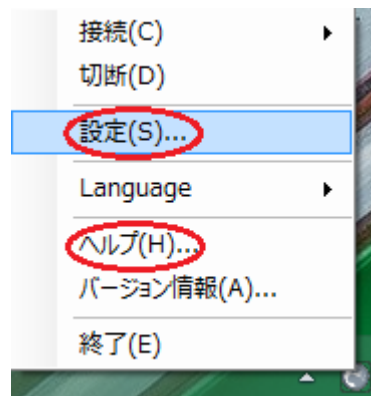
図 7 インストール完了画面

## 2. ProselfDisk の設定

- ・ タスクバーに表示されている ProselfDisk アイコン(  )を右クリックして「設定(S)...」をクリックしてください。なお、「ヘルプ(H)...」をクリックすると詳細な説明画面が表示されますので設定

の参考にしてください。

また、タスクバーにアイコンが表示されていない場合は、パソコンを再起動してください。



- ・「設定」をクリックすると図 8 のような画面が表示されるので「追加」ボタンをクリックしてください。

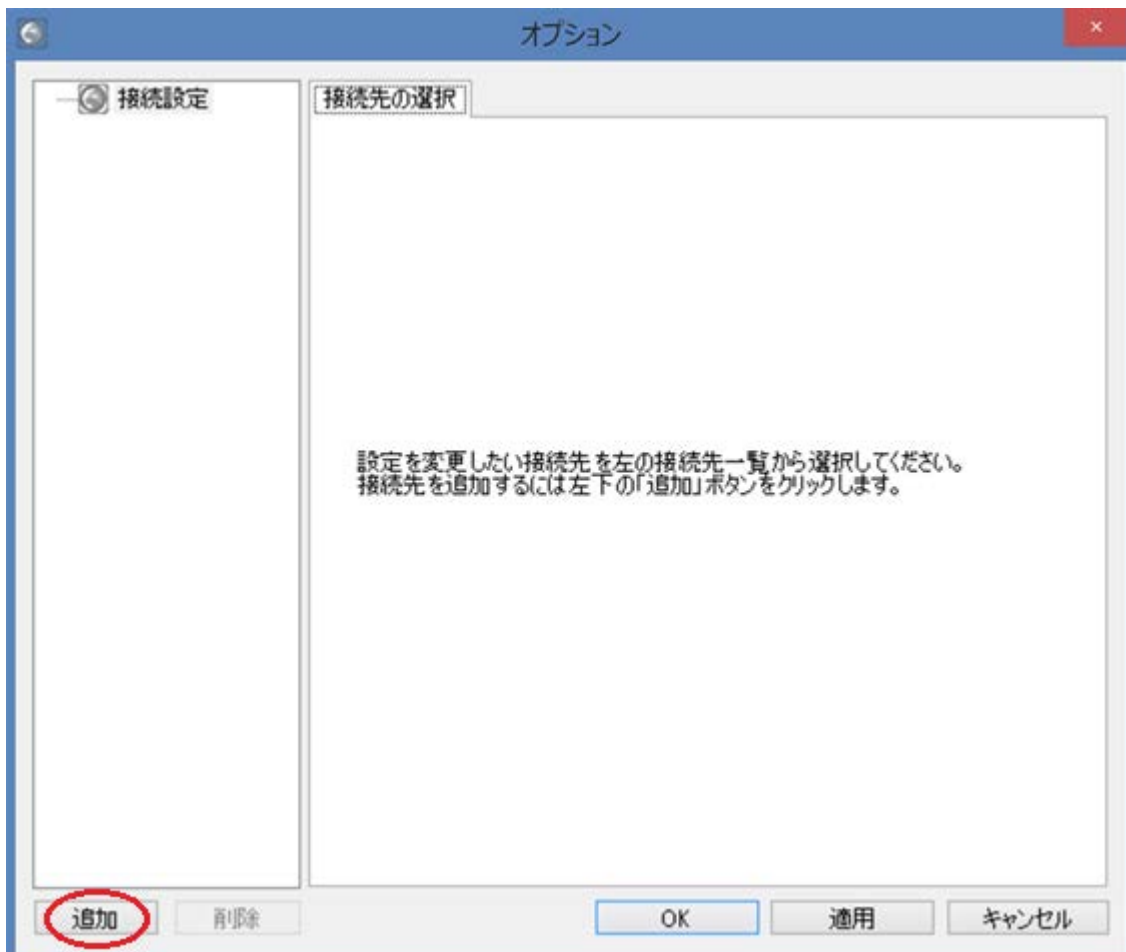


図 8 接続先追加画面

- ・図 9 のような画面が表示されるので必要な情報を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

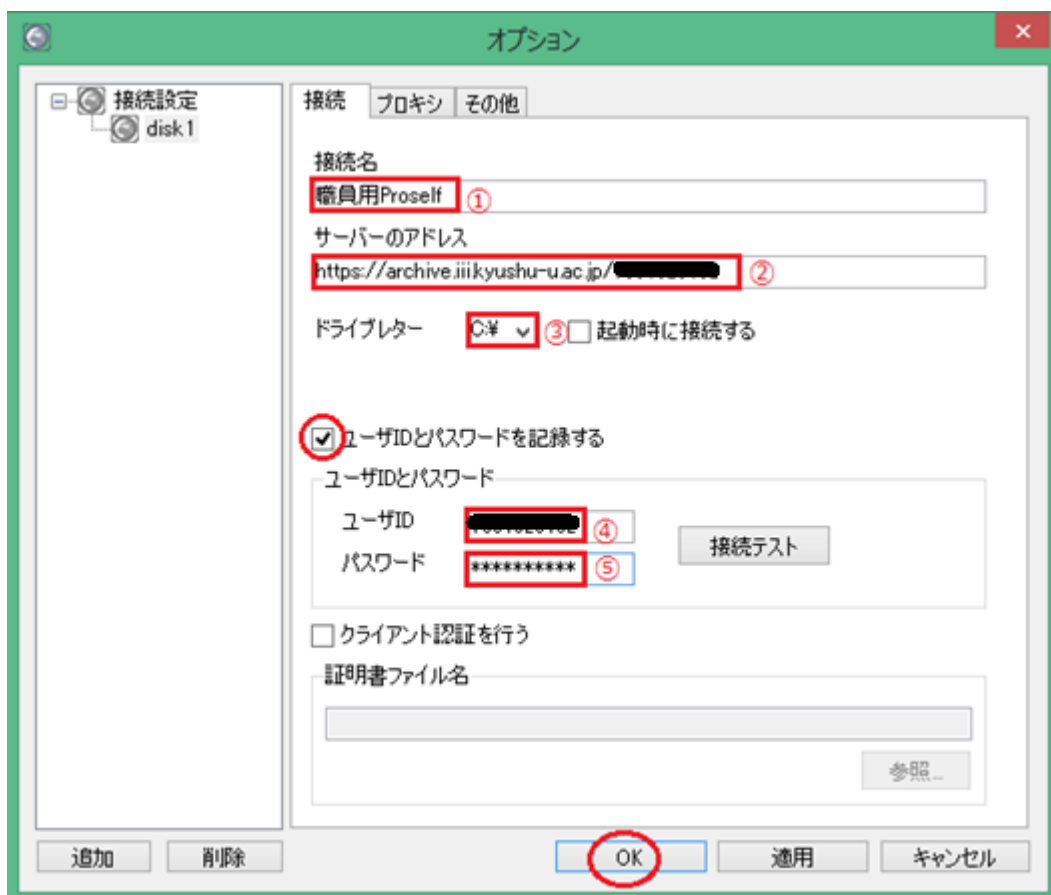


図 9 接続先の設定画面

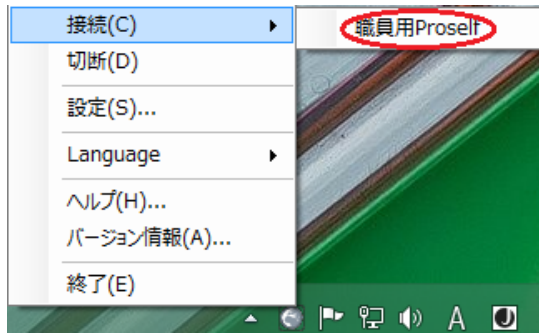
- ① 接続名： 任意の名前
- ② サーバーのアドレス：  
<https://archive.iii.kyushu-u.ac.jp/SSO-KID>
- ③ ドライブレター： Proself に割り当てるドライブを指定してください。  
デフォルトのドライブ(C:¥)を指定すると、既に使用されているため空いているドライブが割り当てられます。また、指定したドライブが使用されている場合にも空いているドライブが割り当てられます。
- ④ ユーザ ID： SSO-KID
- ⑤ パスワード： SSO-KID のパスワード

### 3. Proself への接続と切断

#### (1) 接続

タスクバーの ProselfDisk アイコンを右クリックして「接続(C)」メニューから接続名をクリックして接続してください。

なお、ProselfDisk の設定で、「起動時に接続する」にチェックを入れている場合は、パソコンが起動するときに自動的に接続されます。



エクスプローラーのアイコンをクリックすることにより、図 10 のように仮想ドライブとして割り付けられていることが確認できます。

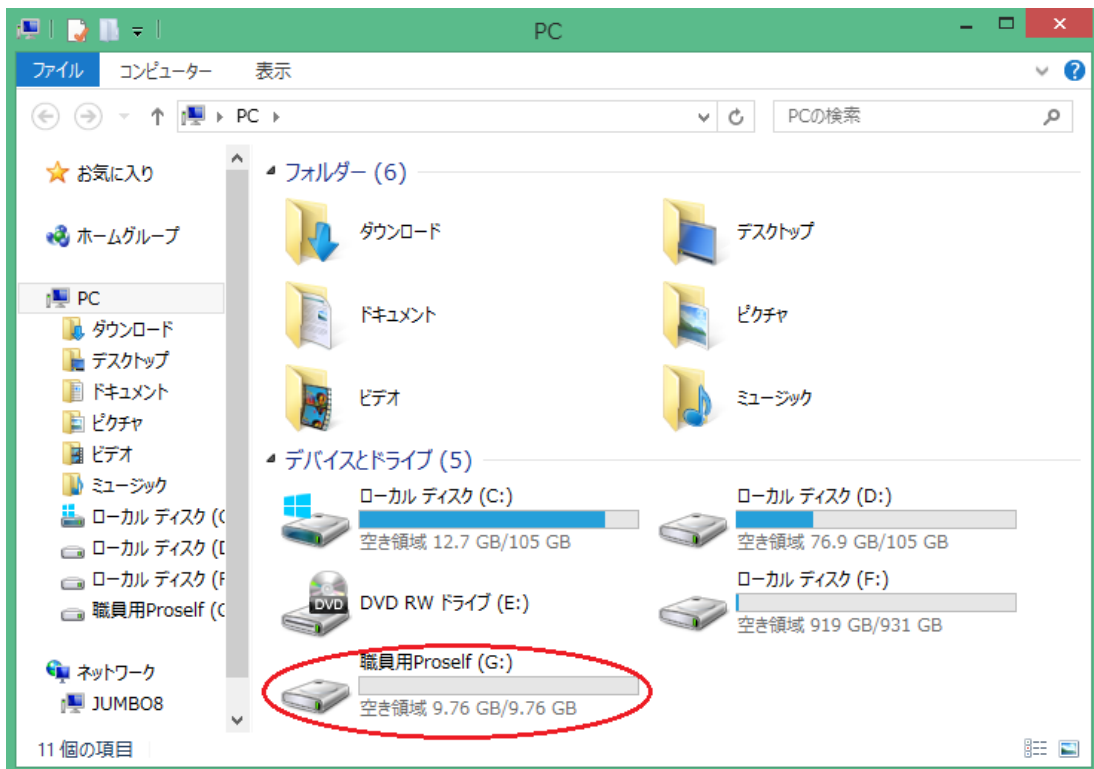
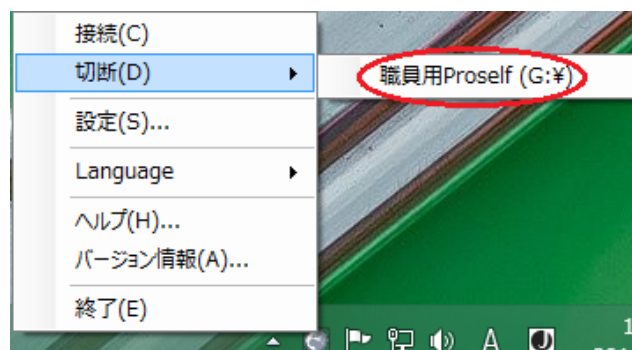


図 10 仮想ドライブ割り付け画面

## (2) 切断

タスクバーの ProselfDisk アイコンを右クリックして「切断」メニューから接続名をクリックして切断してください。



切断されると、図 11 のように仮想ドライブの割り付けが解除されます。

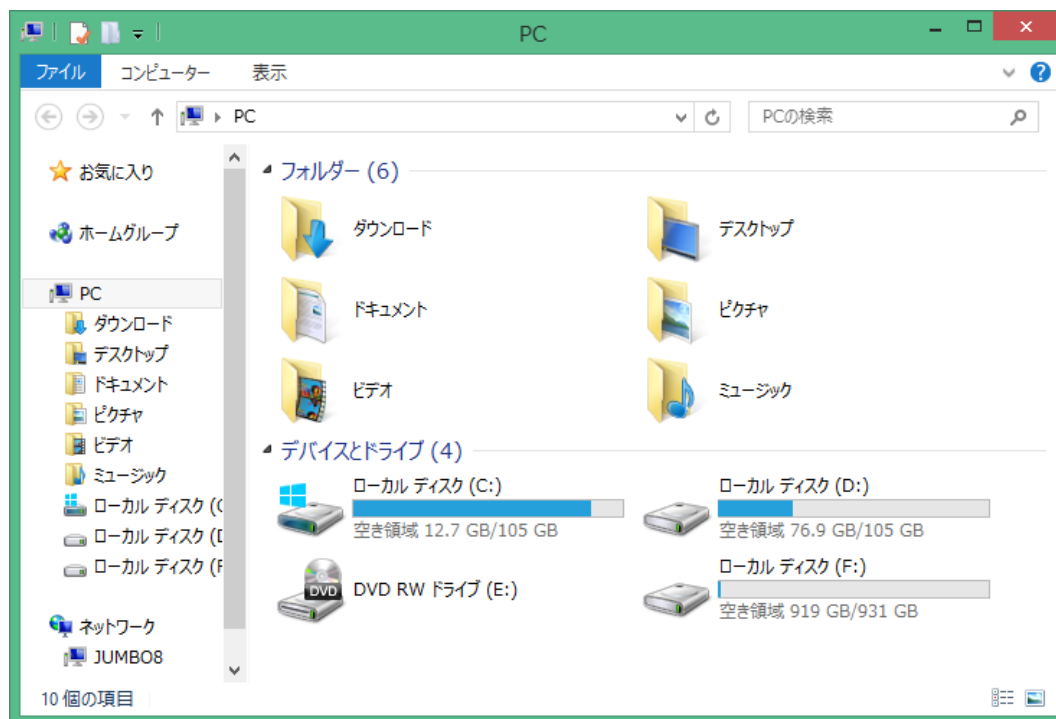


図 11 仮想ドライブの解除画面

#### 4. 仮想ドライブのファイル操作

##### (1) 仮想ドライブのホームフォルダ

図 12 のような画面から Proself の仮想ドライブ(職員用 Proself(G:))をダブルクリックします。

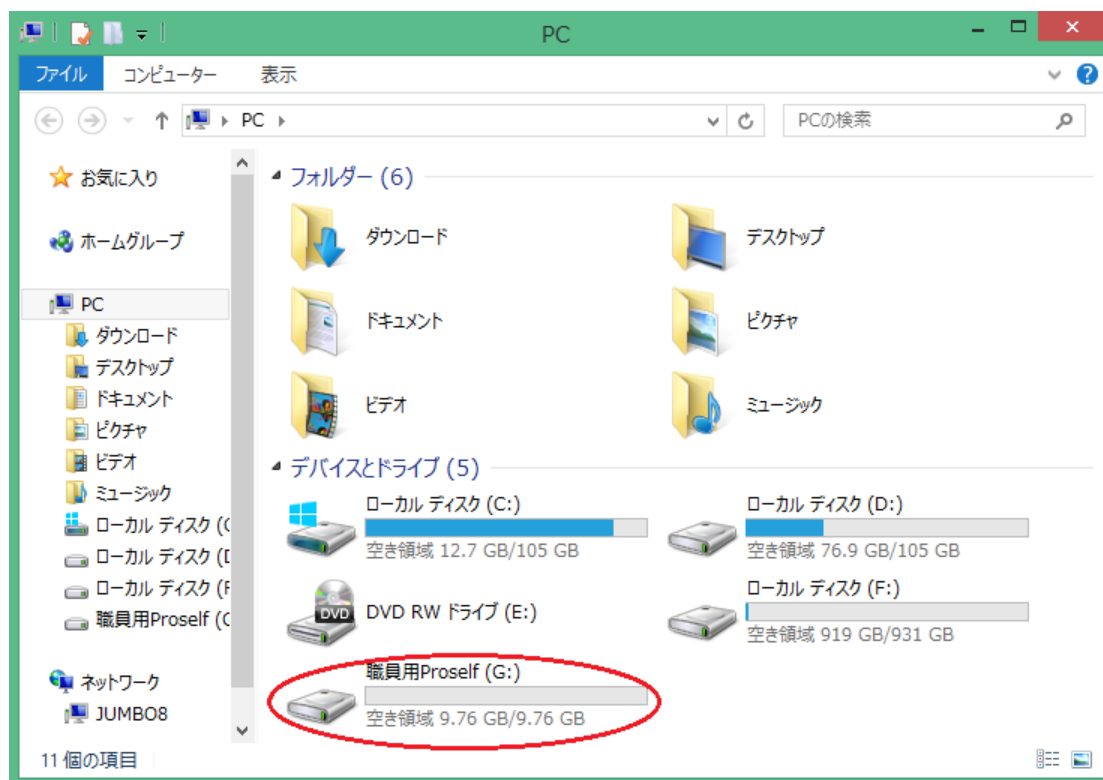


図 12 エクスプローラー画面



図 13 のような利用者フォルダが表示されます。これが仮想ドライブのホームフォルダになります。

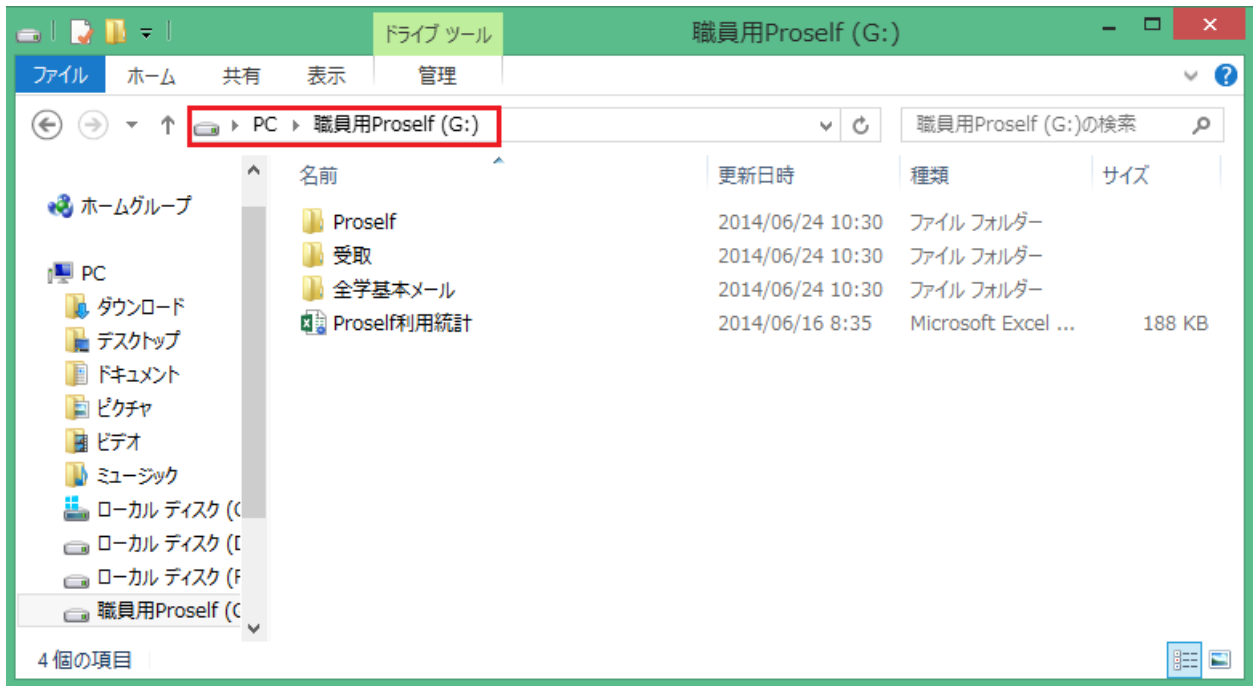


図 13 仮想ドライブのホームフォルダ画面

仮想ドライブ上では、次のように通常のローカルディスクと同ようなファイル操作が可能です。

- ・ドラッグ&ドロップでファイルのアップロードを行うことができます。
- ・アプリケーションで作成したファイルを仮想ドライブに保存することができます。
- ・仮想ドライブ上のファイルをダブルクリックすることにより関連するソフトが起動します。

## (2) Web 公開

ファイルを他人に渡すためには、渡したいファイル(フォルダ)を選択して右クリックし、「Web 公開設定(W)」をクリックしてください。ここでは、「Proself 利用統計」を Web 公開します。

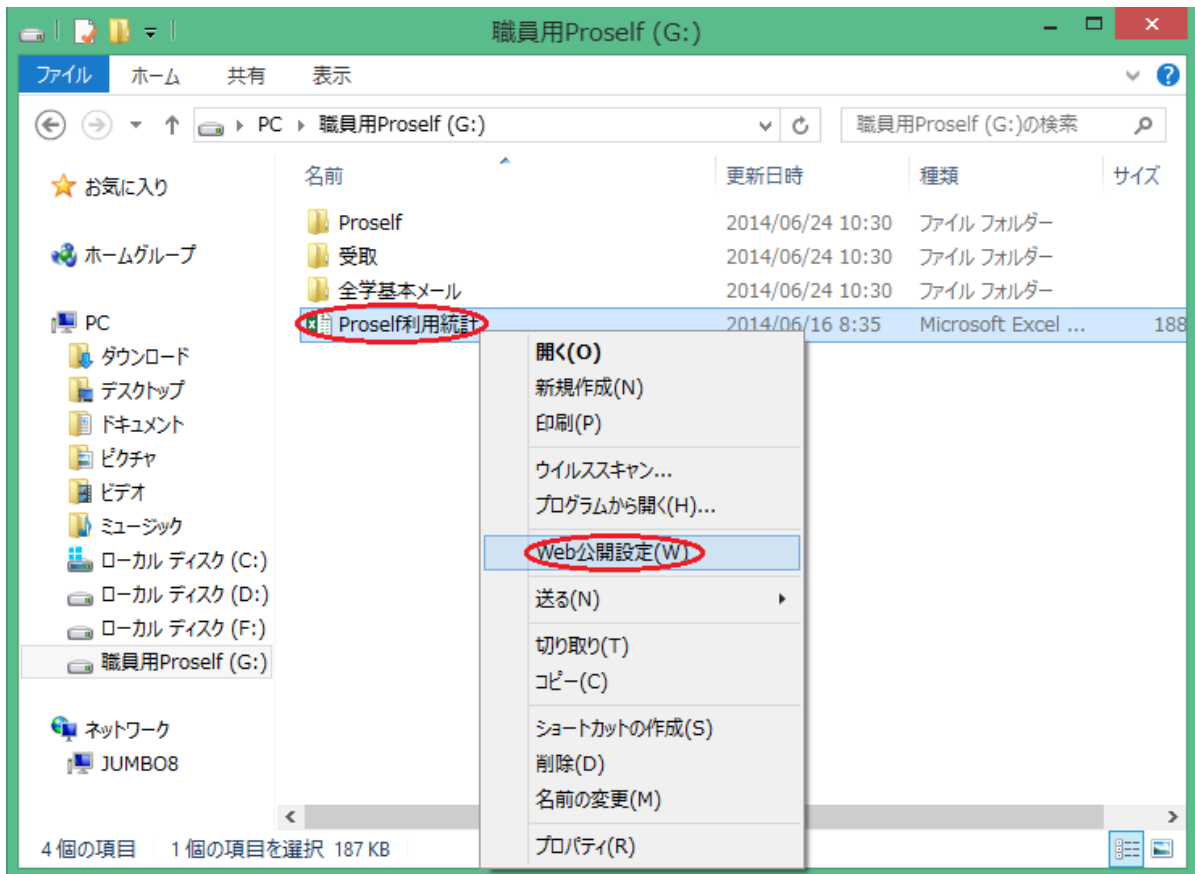


図 12 Web 公開操作画面

図 13 のような画面が表示されるので各設定をして「OK」ボタンをクリックしてください。  
ここでは、「公開期限」だけを設定しています。

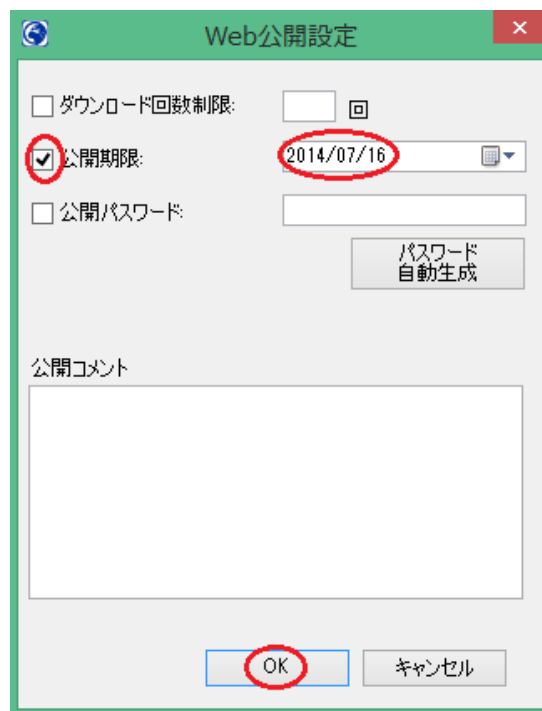


図 13 Web 公開設定画面

図 14 のような画面が表示されるので「クリップボードにコピー」ボタンをクリックして公開アドレスをコピーし、続いて「OK」ボタンをクリックし、Web 公開操作を終了してください。

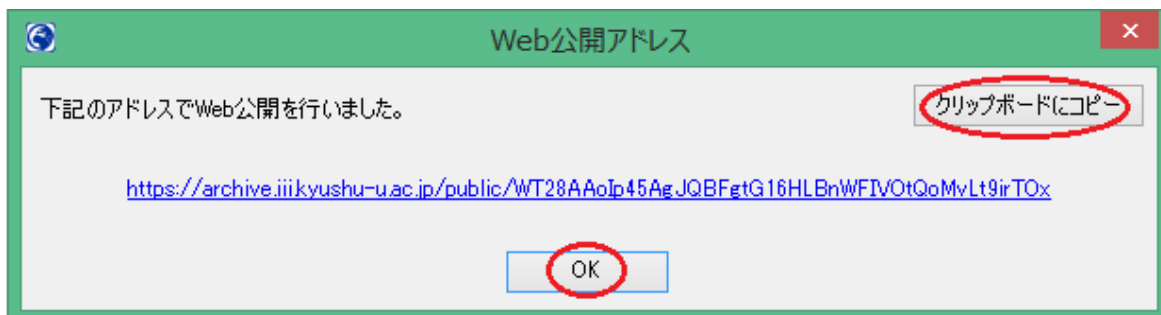


図 14 Web 公開アドレス画面

クリップボードにコピーした公開アドレスをメールの本文に貼り付けて相手に送ります。メールを受け取った人は、この公開アドレスにアクセスすることによりファイル(フォルダ)を受け取ることができます。

### (3) Web 公開の停止

Web 公開を停止したいファイル(フォルダ)を選択して右クリックし、「Web 公開停止(S)」をクリックします。ここでは「Proself 利用統計」を Web 公開停止します。

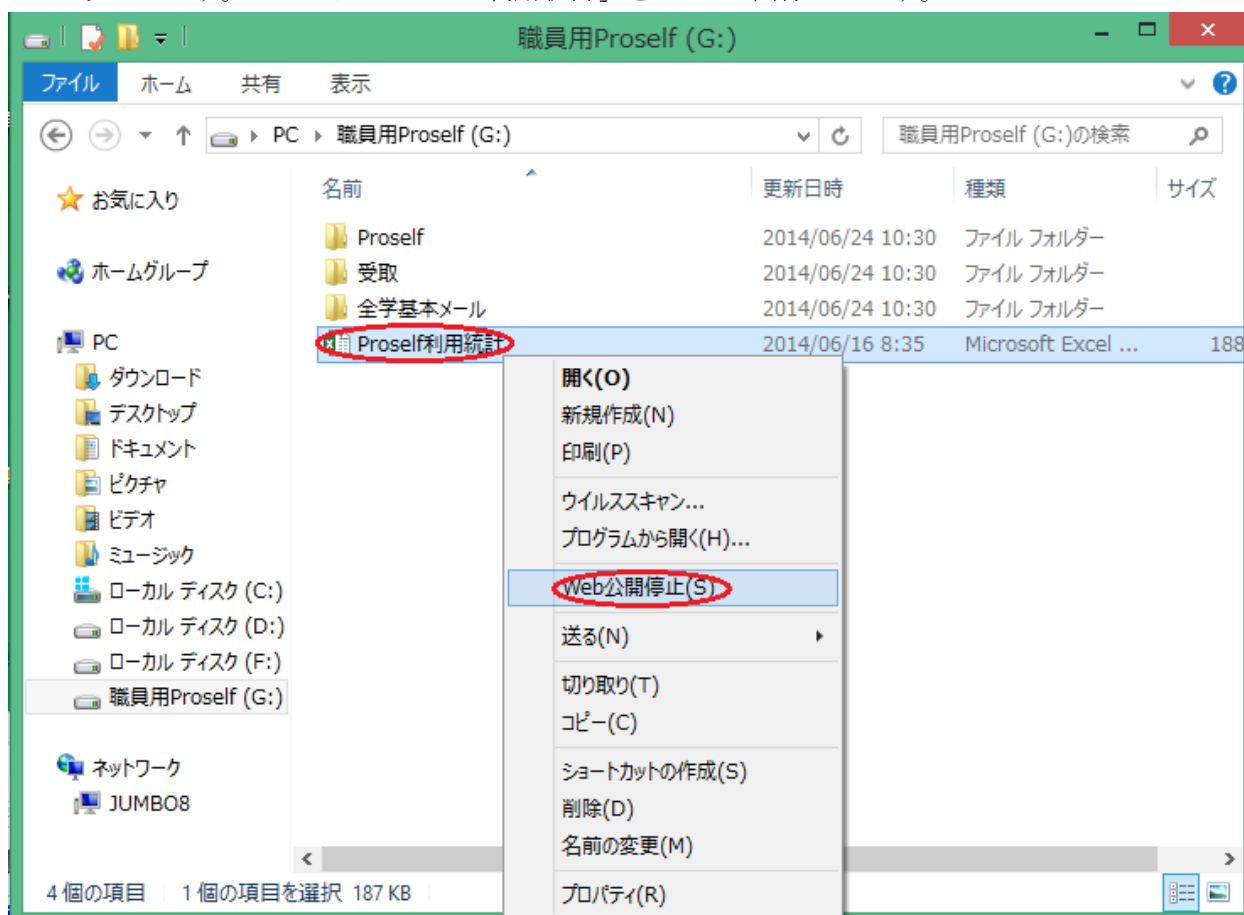


図 15 Web 公開停止操作画面

#### (4) 受取フォルダの作成と設定

受取フォルダとは、他人からファイルを受け取るためのフォルダです。

他人からファイルを受け取る手順は次のようになります。

- ① 受取フォルダの作成
- ② 受取フォルダの設定
- ③ 受取フォルダの URL をメールで連絡
- ④ 受取フォルダに他の人がファイルをアップロード

##### ① 受取フォルダの作成

仮想ドライブ上で右クリックし、「新規作成(X)」から「フォルダー(F)」を選択して作成します。

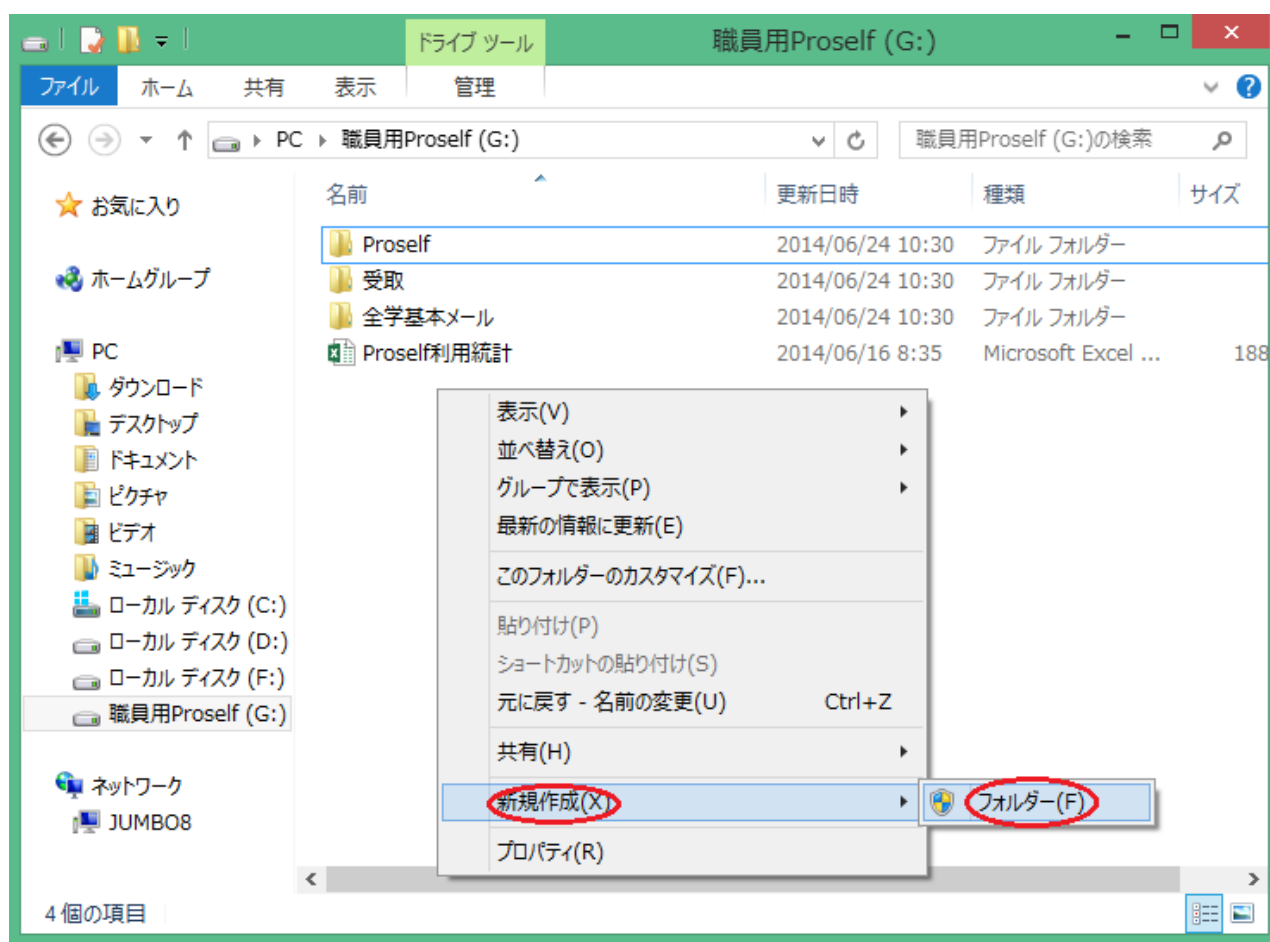


図 16 受取フォルダの作成画面

図 17 のように受取フォルダが作成されます。ここでは、「レポート」という名前のフォルダを作成しています。

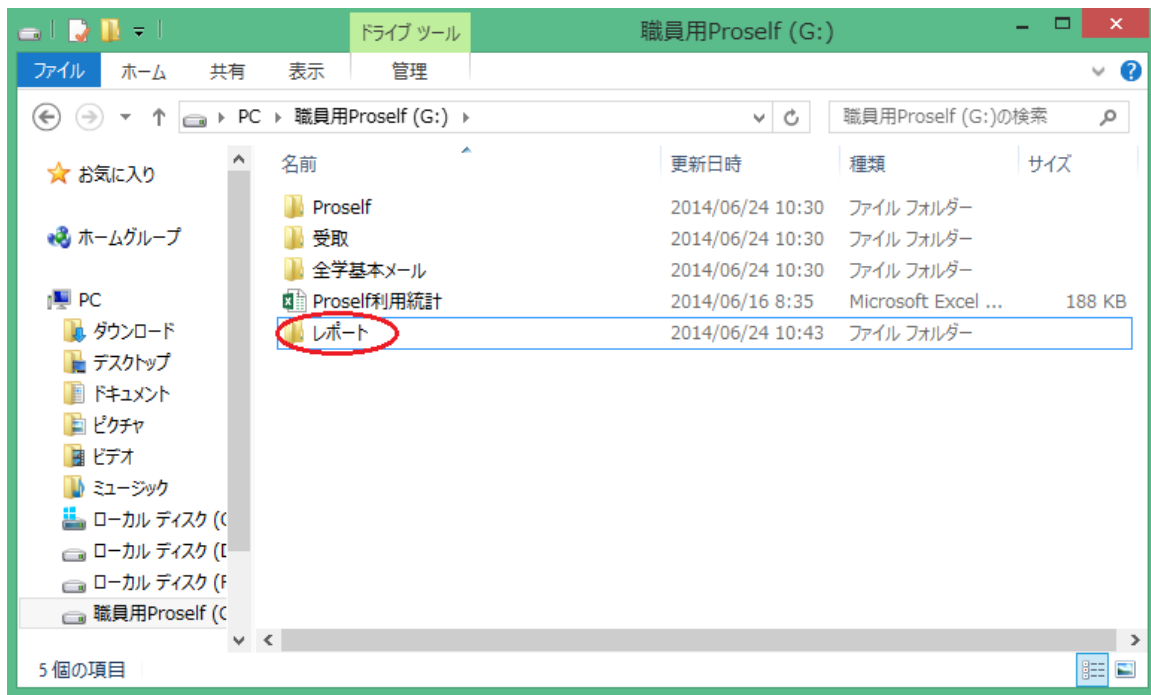


図 17 受取フォルダ画面

② 受取フォルダの設定

受取フォルダ(レポート)を右クリックし、メニューから「受取フォルダ(D)...」を選択します。

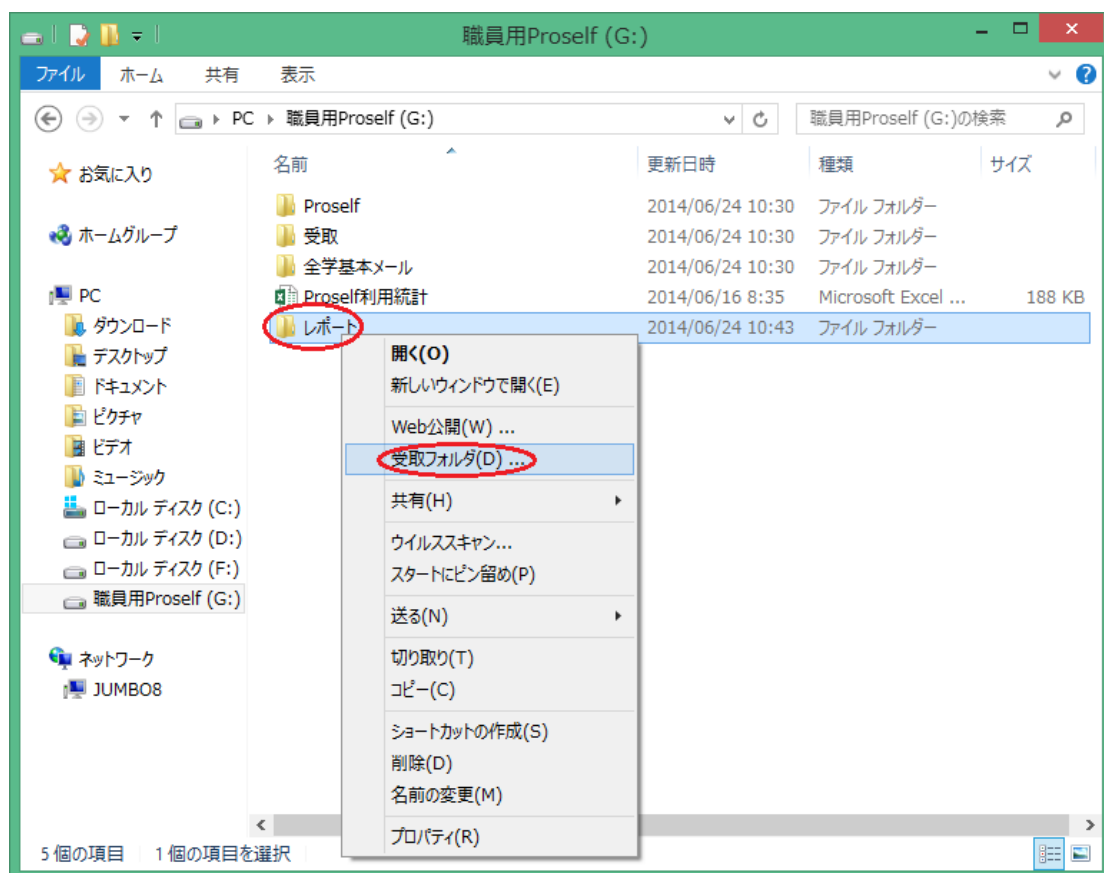


図 18 受取フォルダ選択画面

図 19 のような画面が表示されるので、受取フォルダの必要な設定を行い、最後に「OK」をクリックしてください。ここでは、アップロードが出来る期限(公開期限)のみを設定しています。

受取フォルダ設定

アップロード回数制限  回

公開期限: 2014/07/15

公開パスワード:

アップロードファイル非表示

公開コメント

図 19 受取フォルダ設定画面

図 20 のような画面が表示されるので、「クリップボードにコピー」ボタンをクリックして受取フォルダの URL をコピーし、最後に「OK」をクリックしてください。

受取フォルダアドレス

下記のアドレスで受取フォルダを行いました。

<https://archive.iii.kyushu-u.ac.jp/public/MTTwAAAbIBw5ArEUBrVBGSn7LximNYqxCI3UaLbiZH6PT>

図 20 受取フォルダアドレス画面

### ③ 受取フォルダの URL をメールで連絡

Web 公開の時と同様の手順で、クリップボードにコピーした受取フォルダの URL をメールに貼り付けて相手に送ります。

なお、受取フォルダの URL は、受取フォルダを右クリックして、メニューから「プロパティ(R)」を選択して確認することもできます。

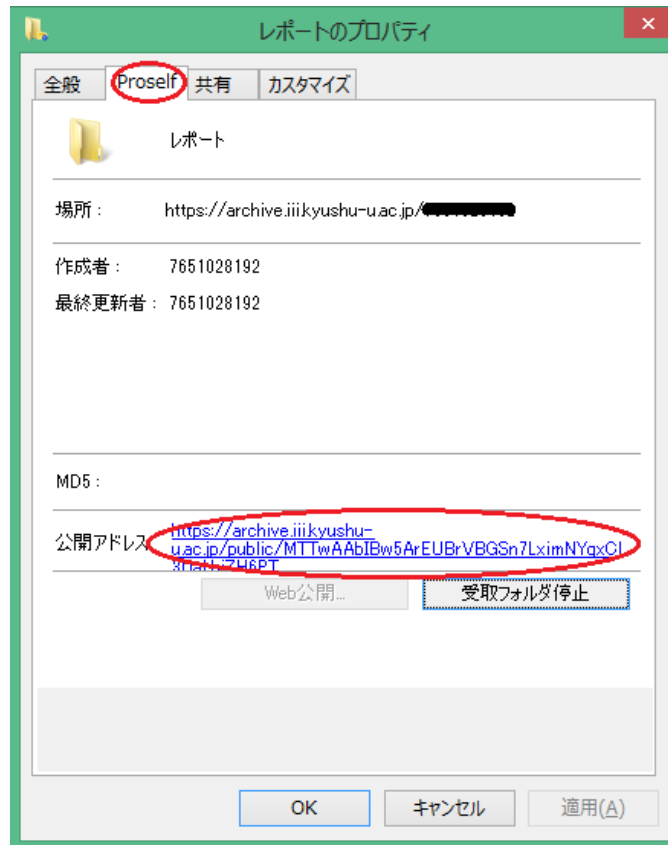


図 21 受取フォルダのプロパティ画面

- ④ 受取フォルダに他の人がファイルをアップロード  
メールを受け取った相手が、受取フォルダの URL にアクセスすると次の画面が表示されます。



図 22 受取フォルダへのアップロード画面

相手は、「アップロード」をクリックしてファイルを受取フォルダにアップロードします。